

ドローンと音声によりカラスを誘導する実証実験

○ 山形市では、カラスの糞害や騒音に対する市民からの苦情が多く寄せられている。カラス対策にドローンと音声（カラスの鳴き声）を活用できるか検証するため、専門家の協力のもと2種類の実証実験を行った。

【実験1】

内容：市郊外にて、スピーカー搭載ドローンを飛ばし、カラスの集団に様々な音声を聞かせ、反応を観察する。

結果：カラスはドローン自体に驚き、音声への反応を確認できなかった。ドローンの飛行方法や見た目をカラスに近づける必要がある。

【実験2】

内容：市中心部にて、カラスの天敵の声、警戒時のカラスの鳴き声、平静時のカラスの鳴き声を地上から順に流し、カラスを目的地点へ誘導する。

結果：カラスの大半を意図する地点へと誘導できた。

山形市



【実験1】の様子

○専門家の見解としては、【実験2】の結果は非常に大きな成果であった。

今後は専門家のほうでドローンに改良を加え、将来的には、地上と上空から音声を流しカラスの疑似生活空間を作り出し、確実なカラス誘導を可能にしていく。